

医師としての将来を 考える実習

H.F 医学科 6年生

私は5年生の冬に、高槻病院総合内科で1週間のクリニカルクラークシップを経験させていただきました。6年生になって振り返ると、この経験をとおして、将来への見通しが大きく開けたと感じています。

医学生の皆さんは自身のキャリアプランについて明確に答えられるでしょうか。またそれを裏付ける経験や理由を持っているでしょうか。学年が上がるにつれて、病院見学や同期との会話で「何科志望か」「初期研修先をどうするか」「将来どんなキャリアを描くか」といった話題が出る機会が確実に増えていきます。私自身、今回のクリニカルクラークシップに行く前は履歴書作りにも苦

戦する状況で、進路が明確に定まっている友人と比較して不安を感じていました。

そんな中で参加した高槻病院総合内科のクリニカルクラークシップでは、キャリアについて深く考える時間が数多く用意されていました。1週間の中で初期研修医、後期研修医、専門医の先生方それぞれの立場からのお話を伺うことができ、将来像を描いていくことができました。特に部長の筒泉先生には何度もご相談の機会をいただき、丁寧なフィードバックをいただきました。一学生の進路に対してこれほど多くの時間を割いてくださるということは決して当たり前ではなく、とても貴重な経験でした。

また、将来海外留学を考えている私にとって、留学を見据えた医師教育に触れられたことも大きな刺激となりました。筒泉先生がハワイ大学内科レジデントプログラムに所属していたご経歴もあり、クラークシップ期間中にも英語での症例発表練習が行われていました。今まさに挑戦されている先生方から、USMLEの勉強方法や臨床との両立について具体的にご助言を伺うことができ、目指すべき医師像をより明確に描くことができました。また、後悔のない医師人生を送るべきであると、大きく背中を押していただきました。

さらに、日常診療の実習においても大きな学びがありました。レポート作成のご指導や、診察のフィードバックに加え、訪問診療や外来での問診の一部にも参加させていただき、実践的な経験を積むことができました。

今、私がキャリアプランを問われたら、「総合内科か病棟総合診療に関心があり、初期研修では、全身を幅広く、確実に診る力を養いたい。そして、将来はホスピタリストや海外留学にもチャレンジしたい」と自信をもって答えられます。もし、キャリアに悩んでいる方や、海外での活躍を視野に入れている方がおられたら、高槻病院総合内科のクリニカルクラークシップをぜひおすすめしたいです。